

# 目次

<b>第1章</b>	<b>平和構築から紛争予防へ —エスニック紛争後の平和構築の課題を中心に—</b>	<b>吉川 元</b>
1.	はじめに	1
2.	国際平和における民主主義の正当性	2
3.	民主主義と紛争	4
4.	紛争形態によって異なる平和構築の課題	6
5.	終わりに—紛争予防は可能か	10
<b>第2章</b>	<b>貧困、政治体制、そして紛争</b>	<b>依田 博</b>
1.	1990年代以降の武力紛争	13
2.	武力紛争と政治的不安定	18
3.	紛争の期間と紛争の定着	24
4.	結論	26
<b>第3章</b>	<b>政治秩序の再編と内戦—分権的領域秩序の動揺</b>	<b>石田 淳</b>
1.	問題の所在と分析の課題	29
2.	国際秩序変動の国内的帰結	30
3.	共振する国際／国内秩序—少数派の権利保護とその紛争抑制効果	32
4.	国際社会の介入とその紛争抑制効果	33
5.	経験的分析のための試論—分権的領域秩序論の中の アフガニスタン紛争・東ティモール紛争	34
6.	おわりに	35

<b>第4章</b>	<b>東ティモールの国家形成と紛争予防の課題</b>	首藤 もと子
	1. はじめに	37
	2. 紛争の本質と経緯	37
	3. 東ティモールにおける国連の平和構築	40
	4. 東ティモール国家建設の課題	43
	5. おわりに：紛争予防の課題	47
<b>第5章</b>	<b>対人地雷と平和構築～アフガニスタンの地雷対策における わが国の貢献を事例に</b>	長 有紀枝
	1. はじめに	51
	2. 象徴としての対人地雷	51
	3. 地雷対策～国際社会の取り組み	52
	4. 紛争予防における地雷・不発弾対策の位置づけ	55
	5. 平和構築と地雷・不発弾対策—新たな枠組み	59
	6. アフガニスタンと地雷対策	64
<b>第6章</b>	<b>「上からの平和」と「下からの平和」—スーダン内戦と平和構築</b>	栗本 英世
	1. はじめに—「新しい戦争」	73
	2. スーダンの内戦	74
	3. スーダン内戦の主体と展開	75
	4. 平和創造の履歴	76
	5. 平和維持・平和構築の必要性和困難さ	77
	6. 東エクアトリア地方の概観—地理的位置、行政区画と民族集団の分布	80
	7. 東エクアトリア地方における内戦の展開	82
	8. 南部スーダン・東エクアトリア地方における「下からの平和」プロジェクト	84
	9. まとめ	86
	<b>参考資料</b>	88